



ニューヨーク国連本部で9日に始まった国連婦人の地位委員会(CSW)年次会合に併せてNGO主催の平行会議も多数開催されている。9日昼、アルメニアコンベンションセンターで「慰安婦問題の真実と正義」と題するパネル会議が開催された。

主催したのは非営利団体ヒューマンライツ・ナウ(本部：東京都)など数団体。同事務局長の伊藤和子さん、女たちの戦争と平和

資料館(東京都)事務局長「性的搾取を受ける仕事は渡辺美奈さん、台湾からは台北婦女救援基金會代表のカン・シューホワさん、デオで紹介したり、「日本米国からは国際人権団体の政府は1993年に『河野

NYで慰安婦問題の会議 日本の人権団体ら主催

ケリ・ムデルさんが約60人を前に第2次世界大戦時の日本軍の従軍慰安婦とその問題点について国際人権法の立場から話した。

発言』で史実を認めただにも関わらず近年は教科書から慰安婦の文字が消え安倍首相は政府の指示はなかったと話すなど状況は悪化して

いる。被害女性たちが正義を勝ち得ないまま高齢化して亡くなつていく。昨今、日本政府が史実を認め、歴史を繰り返さないよう慰安婦問題を次世代へ伝えていくことが急務」と訴えた。会場にいた韓国の女性権利団体代表の範恵仁さんも登壇して「今年に入り2人が亡くなり、現在は53人の生存者のサポートをしている。早急な日本政府の誠意ある対応を求める」と話した。(小味かおる、写真も)